

バンクーバー便り 15

バンクーバー時間：2023年9月28日(木)午前7時10分

日本時間：2023年9月28日午後11時10分

皆さんこんにちは。今回はバンクーバー補習授業校についてお話をします。補習授業校は海外に住む日本人子女のために設置された教育施設の一つです。カナダにはオタワ、エドモントン、トロント、バンクーバー、モントリオール、ハリファックスにそれぞれ1校ずつ、そしてカルガリーには補習授業校と日本人コミュニティー・スクール補習授業校の2校があり、全部で8校あります。このうちトロントとバンクーバーの補習授業校には文科省からの派遣教師がいます。海外に在留する日本人の子ども達のために学校教育法に規定する学校教育に準じた教育を実施する在外教育施設には日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設があります。Wikipediaによると最も歴史の古い補習校は、1958年にワシントンD.C.の日本大使館一室から始まりまったワシントン日本語学校とのことです。文科省の資料では2023(令和5)年7月1日現在、世界51カ国と1地域に234校が設置され、約2万人が学んでいるとのことです。主に小中高校の教育が行われており、一部の補習授業校には、授業時間数や授業科目が日本人学校に準じているもの(いわゆる「準全日制補習授業校」)もあります。国語を中心に、施設によって算数(数学)、理科、社会などを加えた授業が、国内で使用されている教科書(無償配布)を用いて行われています。毎週土曜日か日曜日に開校し、地域の日系企業が設置者となって校舎は地元校の校舎を借用しています。

バンクーバー補習授業校は1973(昭和48)年4月7日に設立され、現在のサー・チャールズ・タッパー・セカンダリースクールに校舎を移したのは2008(平成20)年1月で、移転して15年になります。翌年2009年2月にはバンクーバーオリンピックのメダリスト(長島・加藤選手)が、2011年9月には宇宙飛行士の毛利衛氏が来校しています。現在の在校生は164名で、その内訳は幼児部14名・小学部106名・中学部29名・高等部15名です。土曜日9時~15時に開校し、小学部の授業科目には国語・算数・生活・社会の授業があります。今年は、バンクーバー補習授業校とトロント補習授業校は設立50周年を迎え、7月の創立50周年記念運動会には、小学生の娘も参加し、親子で楽しい時間を過ごしました。2023年9月23日(土)に創立50周年記念式典が開催されました。午前10時から第1部が行われ、カナダ国歌と日本国歌の斉唱後に、校長、本校設置者のバンクーバービジネス懇話会会長、在バンクーバー日本国総領事館総領事の祝辞があり、永年勤続教員表彰では30年と20年の勤続教員3名が表彰されました。そして創立50周年記念正式マスコットキャラクターの発表があり、小学部5年生の女兒が全校生の投票によって選ばれました。マスコットキャラクターは可愛いムースが日本とカナダの国旗を持っているイラストでした。最後に校歌が斉唱されましたが、作曲はバンクーバー在住の指揮者、秋山和慶氏で、氏は現在、広島交響楽団の終身名誉指揮者やバンクーバー交響楽団の桂冠指揮者、そしてかなりの鉄ちゃんぶりなど、世界的に活躍をされています。

午前11時から第2部が始まり、元NHKアナウンサーで現在はフリーアナウンサー並びに文筆家としてTOKYO FMや民放番組で活躍されている住吉美紀さんが『バンクーバー補習授業校がくれたもの』という演題で講演がありました。住吉さんは第58回NHK紅白歌合戦総合司会を始め、ハイビジョン生中継世界遺産海外リポーター、プロフェッショナル仕事の流儀キャスター、などNHK番組に数多く出演しておられました。住吉さんは高校時代をバンクーバーで過ごされており、その頃のご経験をお話になり、講演を聴かれた保護者の方に深い感銘を残されたそうです。私は生憎、所用でお聞きすることができず誠に残念な思いをしています。

補習授業校は、子ども達が日本語や日本文化を学び、自分たちのルーツを確認する上で非常に重

要な役割を担っていると思います。ただ残念なことです。補習授業校は週1日しかなく、この狭い枠の中でできる限りの教育を行うため補習授業校の先生や職員の方は並々ならぬご苦勞をされていると思います。そのご苦勞によって立派な卒業生を輩出し、若い彼らが日加の懸け橋として両国の未来を切り開くことになれば本当に喜ばしいことです。言語や文化の違いを超えて相互理解を実現できるのは若い世代の力でしょうし、殊にカナダで学んだ経験のある日本の若者は新しい価値観を芽生えさせ、両国の発展に力強い槌音を轟かせることと思います。



バンクーバー補習授業校の校章



バンクーバー秋の色彩(ナツカン作)



旧私立セントアンソニー小学校校舎前での朝礼 (1985年)



現在のサー・チャールズ・タッパー・セカンダリースクール



創立50周年記念式典開始前



外務大臣表彰 在バンクーバー日本国総領事館総領事表彰状伝達